

はじめに

このたびの熊本地方で発生した地震により、被災された多くの皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。あらためて被災地が一日も早く復興することを心よりお祈り申し上げます。

2015年は、日本を訪れる外国人が急増し過去最高となりました。この訪日外国人による、日本国内でのインバウンド消費も大きく増加しました。特に中国人観光客による大量の商品購買に対しては、「爆買い」という言葉が用いられ流行しました。このインバウンド市場を狙い、ICTを活用した新たなサービスやソリューションが提供されてきています。

スマートフォン、タブレット、ソーシャルメディア、クラウドなどの普及に伴い、ICTを活用したワークスタイルの変革も始まってきています。テレワークと呼ばれるICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方が注目されてきています。業務効率の向上だけでなく、BCP(事業継続計画)の観点からも注目され、総務省もこのテレワークの普及を推進しています。

技術調査専門委員会は、本年度も「当産業協会会員各社の大きなビジネス領域を占める画像技術とそれを取り巻くハードウェア・ソフトウェア技術に関する先端技術の調査・検討を行ない、広く会員各社に紹介し、技術の向上に寄与する。」ことを基本方針として活動を行いました。本報告書では、その活動を報告します。

本年度は、講演会を1件、現地調査を1件実施しました。

講演会としては、「質感表現と色覚メカニズムを通じて、紙やディスプレイを扱うビジネス機器に期待すること ～視覚・色覚・質感研究の最前線～」というテーマで開催いたしました。

現地調査としては、関西の京阪奈地区に立地するNTTコミュニケーション科学基礎研究所を訪問し、ビッグデータに関する研究など、いくつかの研究室の研究内容を紹介していただきました。

技術動向については、プロダクションプリンター、オフィス機器、産業用プリンターに加えて、本年度はソリューション関連、及び印刷機材展についてもまとめました。

本年度の報告書も、会員各社の皆様に広くご活用いただき、今後の会員各社の更なる発展に寄与できれば幸いです。

最後に、お忙しい中活動にご協力いただいた、会員各社、講演会、現地調査の関係の皆様、ならびに当専門委員会委員、事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

2016年6月

技術委員会 技術調査専門委員会
委員長 西原 雅宏

禁 無 断 転 載

2015 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“はじめに”部

発行 2016 年 6 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査専門委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 4 番 10 号リーラヒジリザカ 7 階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770